

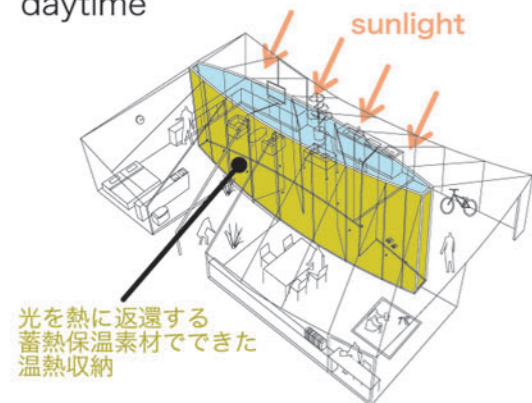
# 温熱を収納するいえ

収納から物を取り出すように、暖かさという居住性を取り出す家を提案します。

この家は、家の中央に太陽光を熱エネルギーに返還する蓄熱保温素材で作られた蓄熱層 (= 温熱収納) を持ち、冬の昼間の強い光を熱として収納して、夜に収納を開けることで居住空間を暖めます。

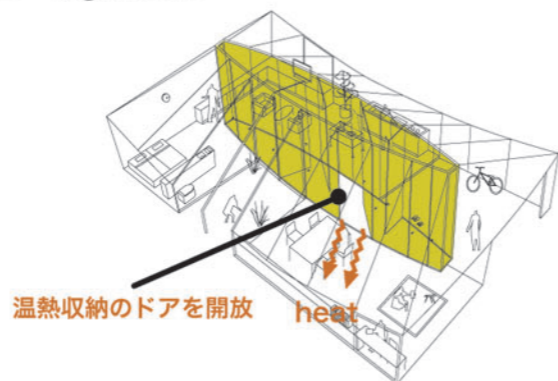
また、温熱収納をドアという室同士を結ぶ要素で形作ることにより、熱を介して人や場所同士が多様につながり合う豊かな居住空間を形成します。

## ■ daytime



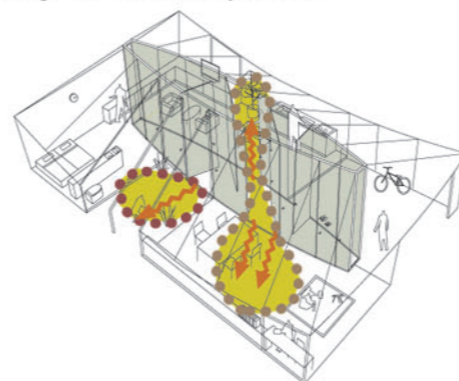
昼間の光を触媒とし、家の中央に熱を蓄えます。

## ■ nighttime

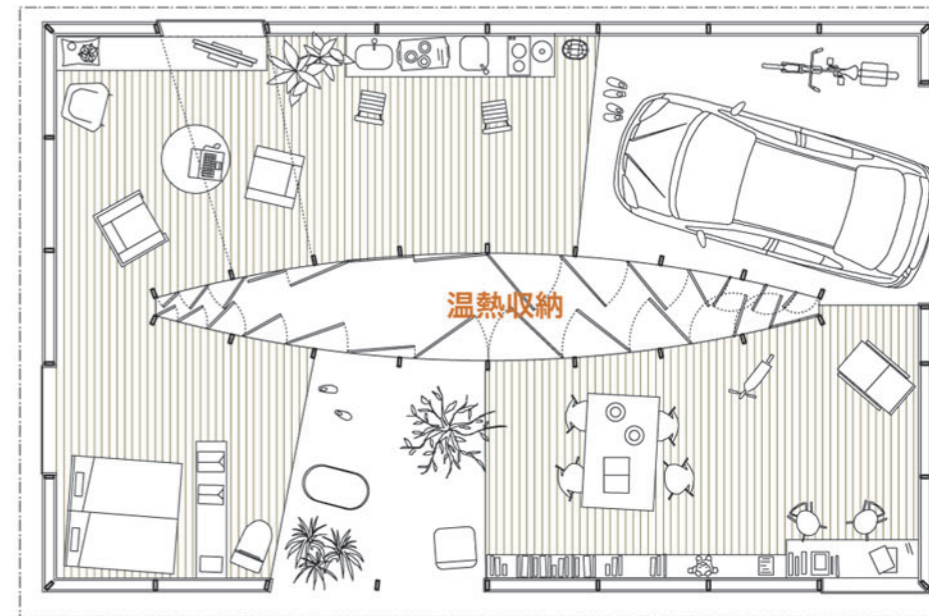


夜は局所暖房の役割を果たします。

## ■ variety of warm spaces



居住空間に様々な関係性を作ります。



平面図 1:100



温度を介してつながる、あちら側とこちら側。



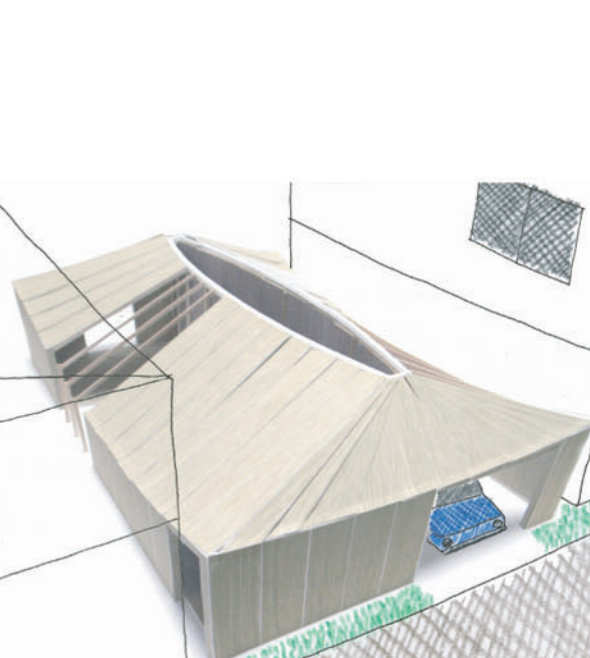
ドアの開き方がつくる空気とその距離。



温熱を収納する。ヒューマンスケールな場所がずるずるとつながって、家全体が近くで遠い距離感に。



温熱収納を開放する。距離を保ちながら部屋同士がつながるような、生活を包み込むワンルーム空間。



光を吸収する中央の温熱収納